

# 共産党市議団 6月定例市議会・一般質問

## 市民の願いは新病院の早期建設



野並市議は、新病院建設問題で、議会で議論をすればするほど、市長の方針が二転三転し、混乱・矛盾が深まっている新病院問題について、「市民の切実な願いは駅前（Aブロック）での建設。市長はこの立場に立ち早期建設すべき」と求めました。

野並市議は、新病院建設問題で、議会で議論をすればするほど、市長の方針が二転三転し、混乱・矛盾が深まっている新病院問題について、「市民の切実な願いは駅前（Aブロック）での建設。市長はこの立場に立ち早期建設すべき」と求めました。

6月定例市議会は17日から21日まで一般質問が行われました。共産党市議団（工藤・野並・東郷市議は、市民から寄せられた願いを質問しました。その中で野並市議は、二転三転し迷走する新病院問題について、市長を正し、その上で、「早期建設を願う市民の立場に立ち、野洲駅前・南口（Aブロック）の建設をすすめよ」と求めました。

（Bブロック）を含む市内3か所を候補地に提案しました。しかし、自ら提案した、Bブロックを否定する発言など迷走していました。その中で去る5月28日の市議会・市民病院整備事業特別委員会でも「国からの交付金もあり、Bブロックで」と、およそ慎重な検討をしたとはうかがえないほど混乱しています。

野並市議は「市長が駅前（Bブロック）での方向を示したが、当初案のAブロックは既に実施設計もできており、なによりも、早期建設を願う市民にこたえるもの」として、Aブロックでの建設を求めました。これに対して市長は「市民から、便利な駅前に早期建設との声は聞いている」と言いながら、「Aブロックは、賑わいと税収を図るところ」として、あくまでAブロックでの建設を否定しました。しかし、賑わいと税収となる具体的方針は全く示すことができませんでした。

このように実現不可能なBブロックに「固執」し、混乱を深める市政に対して定例市議会では、



多くの会派・議員が市長の姿勢を正し、Aブロックでの早期建設を求める質問が出され、市議会としての総意が示されました。

また早期建設へ、市民の世論と運動が広がっています。この願いにこたえるのが市長の役割と責任です。市長は地域医療を担い、市民の命と健康を守る新病院を駅前Aブロックで建設する立場に立つべきです。

6月定例市議会は30日が最終日です。市長提案の議案の討論と採決が行われます。午後1時からです。傍聴にお越しください。

## 「東京オリンピック・パラリンピック中止」意見書など3本を提案しました

共産党市議団は定例市議会に議案提案権を生かし、3本の意見書を提案します。意見書は最終日30日の本会議で採決されます。採決に向けがんばります。意見書は以下の通りです。「コロナ禍のもとで東京五輪（オリンピック・パラリンピックは中止・延期の決断を求める意見書）」「放射性汚染水の海洋放出を2年後に行うことに中止を求める意見書」「老朽原発再稼働に反対する意見書」です。



やす民報

日本共産党野洲市委員会  
2021年6月27日 No.415

市政や市議会へのご意見  
ご要望をお寄せください

野並享子 北野1-7-10 (電話・FAX) 587-0985  
工藤義明 小篠原879 (電話・FAX) 588-1856  
東郷正明 比江864 (電話・FAX) 589-4158

ホームページをご覧ください

共産党野洲市議団 検索